

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「水」を起点とした地域ブランド振興事業
事業主体 (連絡先)	信濃おおまち みずのわプロジェクト 大町市大町3887番地
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,066,814円 (うち支援金: 2,950,000円)

事業内容

SDGs 未来都市計画による「水が生まれる信濃おおまち」サステイナブルタウン構想の実現のため、SDGsの普及啓発や地域資源である「水」を起点とした地域ブランド振興や観光振興に取り組む。

- ・SDGsの普及啓発
- ・みずのわ月間(9月30日~10月29日)
- ・水を活かした特産品開発とPR
- ・水の歴史、資源のデジタルアーカイブ化



【コーヒーフェスティバル】

【目標・ねらい】

- ① 大町市の水の魅力のPRと市民への啓発
- ② 特産品の開発によるブランド振興と事業参加事業者の拡大
- ③ 水の価値の再認識

事業効果

- ① 月間中に、コーヒーフェスティバルを開催し市内外から延べ17,900名余りが来場。大町市の水を使うことでコーヒーを通じて水が美味しいまちとして、大町の水の魅力を市内外へのPRに繋がった。
- ② 水を食材と捉え大町産の水や食材を使った特産品として、かき氷とカクテルのレシピを開発。大町の水の付加価値を高め「水」のブランド振興を図った。また、開発したレシピは、募集した市内飲食店10店舗で販売を開始し事業への参加事業者の拡大に繋がった。
- ③ 水の歴史講座を年4回開催し、市民の皆様にも水とともに発展してきた歴史や複雑な水利体系の特徴などについて水の価値の再認識に繋がった。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・コーヒーフェスティバルへの参加者が約2倍となった。
- ・販売参加店舗が当初目標の2倍となった。
- ・講座参加は当初目標と同程度だった。

今後の取り組み

本事業は、世界的に取組が推進させているSDGsの観点から、長期的に市民や産学官金が一体となり、水を取り巻く資源を保全、活用することが前提となる地域ブランド振興事業であり、次年度以降も産学官金連携と市民活動により継続・発展させていきたい。

また、引き続き地域全体の価値を高めるため、市民の多くが当たり前にあるものと思っている、大町の水の魅力などを見つめ直すきっかけを様々に提供するとともに、大町の水の歴史などを後世に伝えるため知識や遺構、文献等の情報をデジタルアーカイブ化し情報発信や水スポットの整備を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある